

第97回東葛研修観察会

谷津の自然

小川 洋子（八千代市）

日 時：2021年9月25日（土）9:30～15:00 天候：晴れ

指導員：16名、担当指導員：山口・小川、林（当日欠席 資料作成）

今回の観察会は当初一般の方向けの企画でしたが、8月になりコロナ感染者が急増したので一般募集を断念し 会員向けの研修会に変更しました。

観察場所は印西市の師戸川周辺、日本医科大学千葉北総病院のある台地の周囲をぐるっと回るコースです。担当者で下見を重ねたところ、行く度に新たな発見がありました。そこで解散時間を12時半から急遽14時に変更したのですが、それでも収まらず実際の解散は15時になってしまいました。

まず日本医大病院の敷地に入つてすぐの草原はバッタ天国、足を踏み入れるとたくさんの中巴ッタが次々飛び出します。クルマ模様の翅がきれいなクルマバッタにクルマバッタモドキ、トノサマバッタ、ショウリヨウバッタにショウリヨウバッタモドキ、オンブバッタなど、それほど広くない草原ですが、多種類・多数のバッタが見られました。

病院沿いの斜面にはヒヨドリバナ・サワヒヨドリ・オトコエシなど一見よく似た花があり、谷津沿いの葉に大きな切れ込みのあるのはサケバヒヨドリ？ フジバカマ？ 指導員同士の議論は尽きません。ヤマホトトギスにヤマジノホトトギス、見分け方はと話は盛り上がります。コースの後半にはホトトギスもありました。他にノササゲにトキリマメ・キバナアキギリ・ヤクシソウ・シラヤマギク・ユウガギクなども見られました。

谷津に下りればトンボがいっぱい、マユタテアカネにノシメトンボ・ナツアカネもちらほら飛んでいます。シオカラトンボにギンヤンマ・オオアオイトトンボも見られました。ハイライトはヤママユの雌、お腹が膨らんで飛ぶのも大変そう、無事に産卵してくれる事を願います。下見時には羽化したてのヤママユの雄を見ました。この地域の自然が豊かである証明だと思います。

この谷津の未来は安泰でしょうか。田んぼは電気柵に囲まれ、しかも放棄田が目につきます。道を辿ればイノシシの足跡と獣道だらけです。台地の雑木林に目を向ければナラ枯れ被害が目につくようになりました。田島さんが持参してくださったカシノナガキクイムシを見ながら、三嶋さんに東葛地区のナラ枯れの被害状況と対策などのご説明いただきました。豊かに見える谷津も問題山積、今後が心配です。

解散が遅くなつたにもかかわらず参加者の皆さんから豊かな自然を楽しんだという感想をいただき、担当としてはホッとしているところです。



クルマバッタの翅の模様を観察



オトコエシ:白色 オミナエシ属



巨大で美しいヤママユガ ♀